

日時：平成 24 年 3 月 30 日 19 時 30 分～20 時 45 分

場所：ベイコム総合体育館 会議室 2

ブロック長出席者：畑（北海道）、小田（東北）、富永（関東）、高（静岡）、吉楽（北信越）、山田（東海）、吉本（京滋奈）、西田（関西）、玉島（兵庫）、樋川（四国）、水川（岡山）、山野（広島）、中村（九州）

運営委員：北原、金田

日本委員会：野田会長、大橋専務理事

司会：金田、書記：山野

議題： 次年度の開催について

■日本委員会野田会長より：

①来年の Japan Open 開催について：

来年度は玉川大学で Junior、senior 合同で、GW に開催 （玉川大からの条件）

②次年度以降（2014～）について、

大規模になってきたので、会場が限られる

⇒ 独立開催を基本とする

場所・時期は各々別に決める （独立して動かねばならない）

Q； それは決定なのか？

A： 2013 年は決定事項

Q： 事前に審議があつてしかるべきでは？（今年の厳しい時期にやった意味は？）

A： Junior のニーズを考えてのこと、また、尼崎からオファーがあつたため

それが今後続くわけではない。

うまく行くのが判ってからやるのでは間に合わない。

玉川大からのオファーがあつて、それに応じた。

単独開催がうまくいったので、理事会として、独立開催でゆくこととした。

Q： そういった過程がなぜ展開されなかったのか？

A： 玉川大からの正式オファーは 2week 前であつた。

それを理事会で審議した。

契約内容を契約前にリークするのは良くないと判断した。

また、来年のことはもう決めてゆかねばならないという判断である。

⇒ 2week を待てなかつたのは残念

⇒ 開催に苦勞するなか感謝する

Q： 世界大会とのスケジュールは大丈夫か？

A： 世界大会へのエントリーフィーは日本委員会が立て替える（リスクを負う）

GW に実施しても手続きは間に合うであろうという判断。

Q: 具体的日程は？

A: 5月4, 5, 6日 (4日が設営&セットアップ)

Q: ブロック大会への影響は？

A: 本年度(2012年度)と同様のスケジュールで行って頂きたい。

本来は実行委員会にはかる事項であったが、理事会での決定を下ろすカタチゆえ、ご理解いただきたい。

#### ■2014以降は独立開催について

予算による理由が大きい。

ノード・ブロック戦は、今まで通りのスケジュールとしたい。(3月末でのJapan Openをめざした日程)独立開催ならば、今回の予算レベルで何とかなる。

※ ジュニアの場で審議できなかつた点について、やむをえなかつた。

しかし、今回の尼崎大会で、Juniorのみで独立開催できることが判つた。

2年かけて独立運営開催できる土壌を作つてほしい。

玉川大学での開催は、単独開催でがんばつた結果を本来は継続したかつたが、Japan Openに支障をきたしたくなかつたので、日本委員会の判断を飲まざるを得なかつた。

来年度は5月開催ということで、ご理解いただきたい。

本年は3月末という厳しい時期の開催でご苦勞をかけています。

シニアは隔年になる可能性もあるので、独立開催にむけての動きをご理解いただきたい。

#### ■JSTからの支援の件:

支援金=700万円

使途は、「国際大会への支援に限る」(旅費の補助 世界大会に決まつた選手に対しての教育など)

⇒ 夏合宿に使えない

- ・国際関連費750万申請で700万得た
- ・国内イベントには使えない
- ・ジャパンオープンにも使えない

どこまで海外渡航費を支援するか、今後議論しよう。

CoSpace参加者は渡航費を支給しない。(ジャパンオープンに参加していない)

他の競技も、のきなみ削られている。

- ・シニアとくつつくより、独立開催のほうが安いのか？
- ・お金がないなかで玉川大で開催できるのは助かる
- ・ジュニアのためだけなら金を出す企業はある。
- ・尼崎市長&商工会の感触は良い (玉川の次は尼崎でもOKとの声あり)

尼崎は「甲子園化したい」という声もある。

日本委員会理事会では、ジュニアがきちんとした体制を作れば単独開催を認めることになった。

■次年度のお願い：

①スタッフについて、

今年度、スタッフ集め大変だったと思う。

(兵庫、関西、京滋奈から50名くらいの学生スタッフが活動)

来年は関東ゆえ、関東地区にお願いしたい。

来年は、スタッフの交通費も厳しい。(エントリーフィーの中から捻出せねばならないかもしれない)

②専属事務について、

ジュニアの専属事務を設けたい。シニアの事務も、ジュニアの仕事が多い...

設けねばならない時期にある。

・ 固定的な運用資金集め ⇒ きっちりした組織・運営⇒専属スタッフ要

・ スポンサー集めも必要 ⇒ (検討・調整中...)

「ジュニアならば...」という企業はある。

■明日、3月31日の件、

15:00辺りに競技が終わる

⇒表彰式・閉会式 1時間

サッカーは、尼崎市から、会頭賞、

レスキューは、IRS 賞

ダンスは、\*\*\*

(すいません、書き取れませんでした...)

各競技で、バランスをとったカタチ

■会費の件：

ノード大会の数ヶ月前あたりに決めたい。

夏にブロック長会議をするか... ? (旅費が無い...)

⇒議決・意思決定のやりかたを考えねばならない

費用は、一度決めたら数年変えない様なものにしたい。

(要望) できるだけ早く決めてほしい。

(回答) 時期で言うなら、世界大会が終わった後あたりが区切りなので、この辺でどうか?

3000人超えている状態ゆえ、個人情報管理・保護もコストがかかる状態を理解してほしい。

■「700万」の使途：

これは世界大会に行く子にしか使わない。(使えない)

今までは均等割りであった。

案： 予選をしていないものは支給しない → OK

初めて行く子と経験者は差をつけるか？ → 懸案事項として審議する

実績： 今年20チーム 50人くらい？

⇒500万くらい飛ぶ

- ・事前講習会に100万使って、そこに「来たいならおいで」で場を持つか？
- ・他からの支援があるものは減らすとかはどうか？
- ・「チームでいくら」というのはどうか？（個人を特定するのは大変）  
（2名以上としたから、定額化というなら理屈通るのでは？）